

<週報No.2, 851> 2,962 回例会

2018年8月17日(金)

◆会長/古屋 了 ◆幹事/加藤 明博

◆司会=川村総一郎 副SAA

◆ゲストビジター=東京ロータリークラブ 児玉幸治様

◆出席報告

本日	70.45%	14名欠席
前回訂正	81.82%	9名欠席
前々回訂正	84.09%	8名欠席

◆ラッキーナンバー=No.21 有賀昭彦君

◆ニコニコボックス ●古屋 了君、加藤明博君=東京ロータリークラブ児玉様、ようこそおいでくださいました。ごゆっくりお過ごしください。●石田孝一君=家族例会幹事の皆様ありがとうございました。●東本清文君=誕生日祝いとして。●有賀昭彦君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・古屋 了会長=諏訪の夏も大変暑かったわけですが、花火とともにお盆、夏が終わった感じがいたします。私の両親の墓は地蔵寺の上、大変眺めのいい霊園にあります。存命でしたら89才と81才でしょうか。父は山梨県山梨市の山奥、南佐久の川上村とも境を接する、旧西保村の親分を務める旧家の三男として生まれました。幼くして母を失い、苦学して山梨工専を出て、終戦直後20才で電気設計技師として茅野市塚原にありました、原電気に就職致しました。諏訪市桑原町の河西家に寄宿をいたしました。そこは今私の自宅となっていますが、当時原電気の社長、原茂さんの母方の実家ということで、戦争未亡人のおばさんが、裁縫教室と下宿屋で生計を立てておりました。河西家は布半の藤原家、鷺の湯の伊東家ともご縁があったようで、日常往来がありました。

河西家の2階では丸茂真先生が諏訪長生館を営まれ、1階では後日私の母が貸衣装店を開業することになります。当時、原茂社長は長きにわたり社会党の代議士をしておられました。原代議士が政界を離れる頃、私の両親は代議士の秘書をされていた河西さんからその屋敷を譲り受けることになりました。その際、「僕が借入れの保証人を引き受けるから古屋さん買いなよ」と、保証人を引き受けてまで父の背中を押して下さったのは丸茂真先生でした。

一方私の母は、原村の開業医の長女でした。土佐の高知の御殿医の家系で、曾祖父は諏訪日赤が郡立高島病院だった明治末期に、土佐から着任した結婚したての青年医でした。中央線が開通する以前のことで、佐久から和田峠を越えて諏訪入りしたときの苦労話が伝わっております。当時原村が無医村だったことから、着任3年で有力者に請われ、甲州街道の上の道の宿場として賑わっていた原村八つ手に開業。山浦地方を馬に乗って往診に歩いたという正義感だったようです。4人の子供達は皆土佐から伴侶を迎えたり、土佐へ嫁いだりして、私の祖母も土佐から嫁いできた方ですから、私の母は純粋な土佐人でした。

両親は職場恋愛でお仲人を社長ご夫妻をお願いして結婚。高度経済成長の中、部下や親戚知人8組のお仲人を頼まれました。私は子ども心に、新郎新婦を滞りなく結ぶ責任と、ご両家の期待とに真っ直ぐ向き合う仲の良い両親の姿を誇らしく感じてきました。この辺に私の原点がありそうです。

さて、山梨県人の血と高知県人の血。遠く離れた人と人の命が交わって生まれた私が、今ここ信州諏訪で地域の皆さんのお世話になりながら、人と人との絆を結ぶ仕事をさせて頂いているこの不思議。墓参りで感じた感傷を綴ってみました。それにしても、何故ブライダル仕事をさせて頂いているのか。この続きは、お耳汚しとは存じませんが、また改めてお聞きください。

◆幹事報告・加藤 明博幹事=①東京ロータリークラブからお越しの児玉幸治様、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし下さい。②諏訪赤十字病院病院長 梶川会員ですが、私の手違いで七つ道具のご用意がございません。次週用意しセレモニーを行いたいと思います。申し訳ございません。③3日の納涼例会では、親睦委員会の皆さんのお蔭で大変楽しい時を過ごす事が出来ました。有難うございました。④本日のクラブフォーラムは、会員増強月間です。担当委員会の皆さんよろしくお祈りします。⑤7月27日に理事会を行い4つの議題について話し合いました。まず一つ目は、出席委員会より報告があり、現在出席免除の権利を持っている方が当クラブに7名いらっしゃいます。出席免除権利者とは、ロータリー歴と年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を書面にてクラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合とあります。後ほど対象者の方には個別にお知らせ致します。二つ目は、例会プログラムの変更について

てです。8月31日は家族も含んだゴルフ例会に変更となるため、9月14日は準法定休日とし、9月21日にクラブ協議会とクラブフォーラムに変更となります。三つ目は、藤森郁男会員より教えて頂いたものですが、ゴルフをしない方、車を持っておられない会員にとってゴルフ例会はフェアではなく、又出席率の向上も望めない為、本来であればゴルフ例会当日に例会場である布半に来館し、署名をすれば出席に相当するとの事を教えて頂きました。8月31日のゴルフ例会より、布半フロントにノートを用意しますので、是非署名をお願いします。四つ目は諏訪市の子供教育支援についてですが、クラブ奉仕活動予算13万8740円に財団補助金16万1260円を合わせ合計30万円とし、図書券を支援する事になりました。⑥8月例会の予定ですが、24日はガバナー補佐の訪問があり、多くの方の出席をお願いします。又例会後に協議会を行います。対象者は理事、各委員会の正副のいずれかと、会員3年未満の方です。本日も案内のFAXを流しますので、出席をお願いします。⑦31日は家族もお招きしたゴルフ例会となります。⑧元会員であった日赤大和先生より、7月29日諏訪文化センターで無事に「カトマンズの約束」が上映されたとお礼の手紙が届きました。日本・ネパール会へ当クラブより5万円の義援金を送ります。

◆新入会員紹介 ●諏訪赤十字病院 病院長 梶川昌二君＝4月から病院長を引き継ぎました。出身は三重県の伊勢



市で、伊勢神宮内宮の近くです。信州大学を卒業後、信大の第二外科に就職。16年前に諏訪赤十字病院へ赴任。今日初めての出席でしたが、できるだけ参加し、地域の発展に共に励んでいければと思いますのでお願い致します。

◆クラブ協議会・会員増強委員会

●小口武男委員長＝先日会員増強特別委員会を開催し、委員全員の出席を頂き、大変活発なご意見を頂きました。

その中で、この人の息子さんがいるので、会員増強で是非誘ってほしい、こう言う人がいるから私があたってみようなど、大変



前向きなご意見を頂き、さすがロータリアンだなと感じました。

今日は地区の会員拡大に行っています玉本委員から地区でのお話をお聞きし、そのあと皆さんでテーブルディスカッションをして頂こうと考えています。ディスカッションの内容ですが、新しい職業の発掘、それと新しい仲間になってほしいと言ったメンバーを挙げていただくと言うことにしたいと思います。

●地区会員増強委員会出向者 玉本広人会員＝6月2日に地区の会員増強セミナーがあり、参加勉強して参りましたのでその内容をお知らせ致します。



まず、会員増強は一体何のために行うんだという話がありました。会員増強はロータリーにとって手法であり、ロータリーの活動を発展させ継承し、クラブの存続意義と更なる発展のために大変重要な手法であるということでした。

実際に会員増強を行うとどんなことが起こるのか。新会員の入会によってクラブ内が活性化する。地域に活動を広めることができる。クラブや地区の経済的基盤を強化できる。以上を踏まえ会員増強は大変必要なことでもあります。

いずれにしても各クラブでおっしゃっていたのは、クラブの雰囲気良く、はたから見ていて楽しくないと、楽しそうでないクラブに誰が入るんだということになります。諏訪は非常に活発で親睦に関しても楽しい活動ができていますので心配はありませんが、そんなところを皆さん個別に対象者の方にお話し頂き、積極的に勧誘してほしいと思います。



◆今後の例会日程

8月24日	金	クラブ協議会 (ガバナー補佐事前訪問)
8月31日	金	ゴルフ例会 (家族同伴 BBQ)
9月7日	金	クラブ協議会 (ガバナー公式訪問)
9月14日	金	準法定休日

執筆担当：飯田兼光